

1. 実況上の着目点

- ① 台風第18号が猛烈な勢力でルソン島の北西を西進。台風周辺から北上する下層暖湿気の影響で南西諸島付近から九州西方海上では、非常に激しい雨を解析し、発雷を多数検知。
- ② 日本の東を高気圧が東北東へ移動。高気圧の縁辺を回る下層暖湿気の影響で四国沖から鹿児島海域付近では非常に激しい雨を解析し、発雷を検知。日本海を高気圧が東へ移動。
- ③ 500hPa 5760m付近で-15℃以下の寒気を伴うトラフが華北を東進。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 台風第18号は、24日にかけて南シナ海を西北西に進み、日本から遠ざかる。南西諸島では台風を波源とするうねりが到達し、しける所がある。南西諸島では24日にかけて、強風やうねりを伴う高波に注意。また、台風周辺から北上する下層暖湿気と1項②の日本の東の高気圧の縁辺を回る台風第19号起源の下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨の降る所がある。西日本では24日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、九州から南西諸島では24日にかけて、落雷や突風に注意。局地的に竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項③のトラフの影響で、23日夜までに華中から朝鮮半島にかけて前線が発生し、24日朝までに黄海で前線上の低気圧が発生する。低気圧は、25日夜にかけて日本海を東北東進し北海道付近を通過し、オホーツク海へ進む。また、25日は500hPa 5700m付近で-15℃以下の寒気が北海道地方へ進み、次第に上空の寒気が北日本を覆う。低気圧や前線に向かう下層暖湿気と上空の寒気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨の降る所がある。北日本では25日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。また、低気圧と1項②の日本の東の高気圧との間で気圧の傾きが急となり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。北日本では25日は、暴風に注意・警戒し、高波に注意。
- ③ 1項②の日本の東の高気圧は25日にかけて千島近海へ移動する。高気圧の縁辺を回る吹送距離・吹続時間の長い北東～東の風の影響で、うねりを伴い波が高くなる所がある。北～西日本太平洋側を中心に25日にかけて、うねりを伴う高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：四国・九州北部120、九州南部100mm。
- ② 波浪(明日まで)：沖縄5、全国的に広い範囲で3m。
- ③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。東～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図